

「MASP なんでも高座」

【発表内容概要】

2016年12月12日

氏名	和澤 功 (ワザワイサオ)	会社名	高度生産研究所
	0586-76-8515, 090-4445-5116 , wazawa@quartz.ocn.ne.jp		
【テーマ】 (1) 私たちが本当に求めるものは何か。 「競争力強化」、「売上・利益の追求」の先に私たちが本当に求めるもの。 (2) 生産性や売上利益の追求だけでないユニークな企業事例			
【ねらい】 (1) “幸せ”とは何か。豊かさとは何か、人生で大切なことは何かを考える。 (2) 「報連相・残業・ノルマ」無し、出勤簿なし・先着順採用・年齢給・5年分の内部留保、売上規模を追求しない、などユニークな中部地区の企業例などを紹介し改めて生産管理システムなどが本当に求めるものは何かを考える			
【内容】 (1)「ごきげんの重要性」 ごきげんは生産性を上げ、人々を楽しく健康にする (2)「三世」 我々はどこから来たのか 我々は何者か 我々はどこへ行くのか(ゴーギャン) 三世(過去世・現在世・未来世) どこに向かって(何を目指して、何を達成・実現すべく)存在・活動しているのか(アリストテレス) (3)「幸せ」を求めて ウルグアイ(ホセ・ムヒカ) 幸せ指数(ブーダン) 自己実現欲求(マズロー) 目的追求(ワークデザイン) (4) どうしたら「ごきげん」になれるか ポジティブ、瞑想、大きな声、伝染 (5) ユニークなの企業例 ①未来工業 全社一斉休日=140日、有給休暇=20日間/年、残業なし、タイムカード無し 服装=自由、全社員海外旅行=1回/5年、…売上=250億円、利益=40億円 ②樹研工業 先着順採用、タイムカードなし、ノルマなし、年齢給、手厚い内部留保、自前主義 ③愛知ドビー 鋳物鍋(私たちはバーミキュラで、世界中の家庭に笑顔を増やします。) ④BOCCH:人を大切にする(活かす)IoT			



ゴーギャン

【自己紹介】

和澤 功（ワザワイサオ）

1971年日本ユニバック(現日本ユニシス)入社

製造工業本部にて、製造業のIT化支援、ERPパッケージの開発・日本化、業革支援

1994年中部ソフトエンジニアリング(日本ユニシス子会社)へ出向

取締役システム本部長として顧客(トヨタ、中電、住友電装、..)のシステム開発を主管
現在

- ・NPO ITC中部 最高顧問 (元理事長)
- ・一般社団法人 持続可能な人づくり・モノづくり支援協会 理事長
- ・NPO 技術データ管理支援協会 運営委員 ・日本生産管理学会 監事
- ・製造メーカー(数社) 顧問、アドバイザー
- ・中部産業連盟 中小企業診断士養成課程 講師
- ・大手SI会社 上級SE育成講座 講師 ・大手地方銀行 製造業に強くなる講座 講師
- ・一宮市 環境審議委員会 副会長 ・一宮市 丹陽町伝法寺町内会(2000戸) 副会長
- ・名古屋地方裁判所・簡易裁判所 調停委員/専門委員
- ・愛知県弁護士会 紛争決センター あっせん・仲裁人

資格

- ・中小企業診断士
- ・技術士(情報工学)
- ・情報処理技術者(特種)
- ・ITコーディネータ

【アピールポイント】

- ① 数多くの製造業との担当、接触(約400社):トヨタから零細企業まで
- ② TPS的(現場改善、システム改善)ITシステム構築と活用主義
- ③ 趣味:探鳥、園芸、ソフトボール、下手ゴルフ、下戸のワインと地酒好、時代劇小説も、
- ④ 最近の課題認識:裁判所(調停、裁判)を通じて日本のITシステム開発の課題を考える
『ユーザー企業の自立化と強化が必要』
『開発方法論と指導者の重要性』
『ユーザー主体のアジャイル開発へ』
『SEのスキル、人格、働く環境、地位の向上が急務』
- ⑤ 多くのベンダーとの系列を越えた交流:ユニシス、IBM、日立、富士通、NEC、セイノー情報、トーテック、ピーアイシステム、アイサンコンピューター、スーパーアプリ、インフォテックス、など約80社
- ⑥ 様々な団体との交流:生産管理学会、ITC、中産連、ESD21、VR、アジャイル研、一宮市、名古屋大学、名工大、名城大学、中京大学、愛知県弁護士会、名古屋民事調停協会、など

以上